課題への事前の取り組み方

- 本ワークショップで対象となるレビュー観点は項目数が多く、
  当日の検討時間のみでは全ての項目を網羅できない可能性が高いです。
  ※観点項目数を絞れば当日のみでも対応可能です。

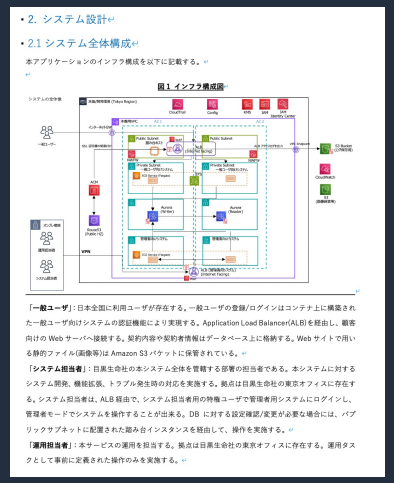
- 事前に課題に取り組む時間がある場合は、本資料を参照の上で、
  ワークショップ前に課題への取り組みを実施ください。

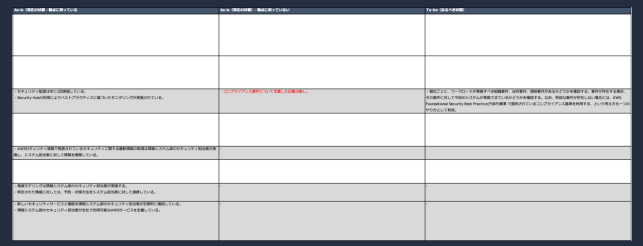
- 更新したファイル(チェックシート)はNIT 梶原様にご連携ください。(8/30中まで)
  当日の貸出PCで更新したファイルを使用できるよう配置いたします。

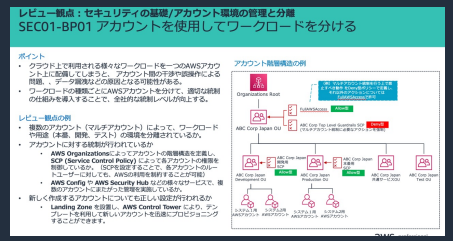
実施いただくこと：課題に対する設計レビュー

課題(架空のシステム要件)に対し、W-Aを使って設計レビューを実施する

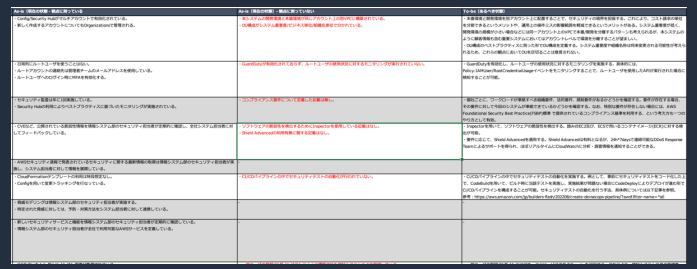
Input
課題、チェックシート、説明資料







Output
レビュー結果記載済みチェックシート



- As-Is の整理
- To-Beの整理

※詳細は次ページ

事前取り組みでは、As-Is の整理に重点を置いてご対応ください。
To-Be の整理は当日のグループワークにて実施する想定です。

Input：説明資料の見方

各レビュー観点のポイントとレビュー観点例を記載
(特に重要な観点については、参考資料を含む)

レビュー観点：セキュリティの基礎/アカウント環境の管理と分離

SEC01-BP01 アカウントを使用してワークロードを分ける

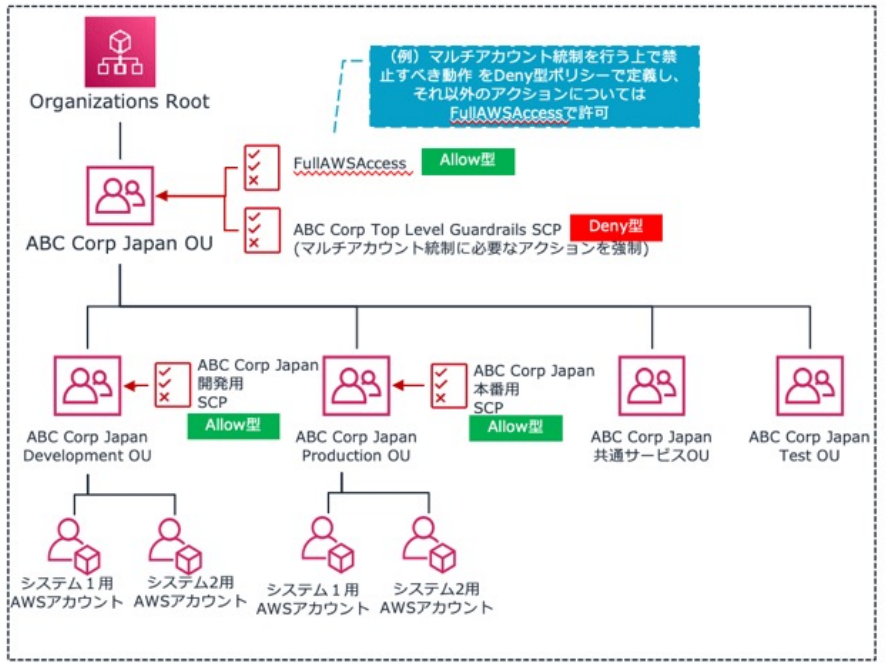
ポイント

- クラウド上で利用される様々なワークロードを一つのAWSアカウント上に配備してしまうと、 アカウント間の干渉や誤操作による問題、、データ漏洩などの原因となる可能性がある。
- ワークロードの種類ごとにAWSアカウントを分けて、適切な統制の仕組みを導入することで、全社的な統制レベルが向上する。

レビュー観点の例

- 複数のアカウント（マルチアカウント）によって、ワークロードや用途（本番、開発、テスト）の環境を分離されているか。
- アカウントに対する統制が行われているか
  - **AWS Organizations**によってアカウントの階層構造を定義し、**SCP (Service Control Policy)** によって各アカウントの権限を制御しているか。（SCPを設定することで、各アカウントのルートユーザーに対しても、AWSの利用を制約することが可能）
  - **AWS Config** や **AWS Security Hub** などの様々なサービスで、複数のアカウントにまたがった管理を実施しているか。
- 新しく作成するアカウントについても正しい設定が行われるか
  - **Landing Zone** を設置し、**AWS Control Tower** により、テンプレートを利用して新しいアカウントを迅速にプロビジョニングすることができます。

アカウント階層構造の例



Input：チェックシートの見方

1.0	項目を満たしている
0.5	一部項目を満たしていない
0.0	項目を満たしていない
対象外	質問がワークロードの対象外

As-Is(観点を満たす)：設計内容がWA観点を満たす場合、設計内容を記載
As-Is(観点を満たさない)：設計内容がWA観点を満たさない場合、設計内容を記載
To-Be：将来像として、あるべき設計方針を記載

…	判定	重要度	項番	観点	As-Is(観点を満たす)	As-Is(観点を満たさない)	To-Be
	1.0	3(高)			○○が○○になっている。	-	-
	0.5	2(中)			○○が○○になっている。	○○が○○になっていない。	○○は○○とする。
	0.0	2			-	○○が○○になっていない。	○○は○○とする。
	対象外	1(低)					
…	…	…	…	…			
合計スコア	xx						
達成率	xx%						

合計スコア / 重要度の合計

aws professional services

Output：チェックシートの埋め方

事前取り組みでは、As-Is(全32項目)のうち、半分程度(16項目)を目標に整理ください。

空白部分(以下オレンジ枠)を受講者が検討の上で記載する(全32項目)
※背景がグレーの項目は初めから記載済みであるため、検討不要
　記載方式の参考サンプルとしてご活用下さい

判定	項番	観点	As-Is(観点を満たす)	As-Is(観点を満たさない)	To-Be
	1.1	・(観点1) ・(観点2) …			
	1.2	・(観点1) ・(観点2) …			
0.5	1.3	・(観点1) ・(観点2) ・(観点3)	・○○が○○になっている。 ・○○が○○になっている。	・○○が○○になっていない。	・○○は○○とする。
1	1.5	・(観点1)	・○○が○○になっている。	-	-

検討のヒント

- 個人ワークではまずはAs-Isの整理から始めて下さい。
(余裕があれば To-Be検討に着手いただいても問題ありません。)
- レビュー観点の意味が分からなければ、説明資料を参照、または、当日講師に聞いてください。
- AWSの情報はインターネット上に多く散らばっています。公式情報や個人ブログなど、広く検索してみてください。